

H28
年度

公開シンポジウム

参加
無料

我が国の今後の沿岸海域利用・管理の在り方を検討し、“きれいで、豊かで、賑わいのある持続可能な沿岸海域”を実現するため、環境省環境研究総合推進費による戦略研究プロジェクトが平成26年度から開始されました。

このたび富山市で開催される「G7環境大臣会合」に因み、これまでの2年間の研究で明らかとなった新たな科学的知見や成果をより多くの方々に知っていただくため、公開シンポジウムを開催いたします。

〔日時〕 平成28年5月9日(月) 10:00～16:00

〔場所〕 富山県民会館 304会議室(富山市新総曲輪4-18)

〔主催〕 環境省「環境研究総合推進費」S-13 プロジェクト

(公財)環日本海環境協力センター(NPEC) (公財)国際エメックスセンター(EMECS)

〔内容〕

研究の詳細はHPをご覧ください <http://www.emecs.or.jp/s-13/>

午前の部(10:00～12:00)

この研究プロジェクトを構成する①瀬戸内海における栄養塩濃度管理手法の開発 ②三陸沿岸海域における沿岸環境管理法の開発 ③国際的閉鎖海域・日本海の海域管理法の開発 ④生態系サービスの経済評価・統合沿岸管理モデルの提示 ⑤沿岸海域管理のための統合数値モデル構築の5つの研究テーマについて、その内容や成果の概要をご報告します。

午後の部(13:30～16:00)

この研究プロジェクトでは、閉鎖性海域である瀬戸内海、開放性内湾が連なる三陸海岸、国際的閉鎖海域である日本海を対象フィールドとして研究が進められています。このうち、日本海を対象とする国際的閉鎖性海域の管理法提案、日本海環境変動予測モデルの構築、日本海高次生態系モデルの構築について、その内容や成果をご報告します。

【お問合せ先】

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番2号
人と防災未来センター 東館5階

(公財)国際エメックスセンター(担当:四方・大輪)

TEL 078-252-0234 FAX 078-252-0404

E-mail secret@emecs.or.jp

〒930-0856 富山県富山市牛島新町5-5

(公財)環日本海環境協力センター(担当:吉田・永森)

TEL 076-445-1571 FAX 076-445-1581

E-mail sympo@npec.or.jp

URL: <http://www.npec.or.jp/>

参加ご希望の方は、裏面の申込書に必要事項をご記入の上、(公財)環日本海環境協力センターへメール、またはファクシミリでお申込みください。

* 定員(100名)に達し次第締め切ります。

【会場案内:富山県民会館】



【プログラム】(予定)

午前の部(10:00~12:00)

開会あいさつ

鈴木 基之 (環日本海環境協力センター理事長)
(国際エメックスセンター会長)

S-13プロジェクトについて

柳 哲雄 (国際エメックスセンター)

瀬戸内海における栄養塩濃度管理法の開発

西嶋 渉 (広島大学)

三陸沿岸海域における沿岸環境管理法の開発

小松 輝久 (東京大学)

生態系サービスの経済評価・統合沿岸管理モデル

仲上 健一 (立命館大学)

総合討論

午後の部(13:30~16:00)

日本海の海域管理法の開発

吉田 尚郁 (環日本海環境協力センター)

日本海低次生態系への東シナ海からの影響

森本 昭彦 (愛媛大学)

日本海低次生態系の将来変動予測に向けて

広瀬 直毅 (九州大学)

スルメイカ・ズワイガニへの環境変動の影響

郭 新宇 (愛媛大学)

総合討論



環境研究総合推進費 S-13 公開シンポジウム 参加申込書

お名前	所属	役職等	電話	E-mail

申込書送付先: (公財)環日本海環境協力センター
FAX 076-445-1581 E-mail sympo@npec.or.jp